

補助金評価シート

区分	重点(重点以外)	補助根拠	法令補助・(その他補助)	開始時期	平成29年4月1日	終期	令和2年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	軽費老人ホーム事務費補助金 軽費老人ホームの運営に要する費用のうち、軽費老人ホームを設置する社会福祉法人が利用者から徴収すべき事務費の一部を減免した場合に、その減免した経費を助成する。						
款・項・目	民生費 老人福祉費 老人福祉総務費						
所属等	福祉部 高齢者支援課 高齢者福祉係 電話025-226-1290						

年 度		平成29年度(1年目)		平成30年度(2年目)		令和元年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	575,006		575,380		564,110	
	決算(千円)	568,181		557,632		570,513	
補助率		26.3%~88.4%		37.1%~87.1%		24.5%~84.3%	

目 標	(1) 家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者入所施設を低額な料金で提供すること。 (2) 軽費老人ホーム入居者の負担軽減及び軽費老人ホームを設置する社会福祉法人等の安定経営を実現すること。						
	<目標が数値でない場合の評価方法> (1)については、入居率等 (2)については、社会福祉法人等の資金収支決算書						

目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率80%以上						
	達成率50%以上						
	達成率50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	入居率(23施設中) 100% : 3施設 90%以上 : 18施設 80%以上 : 2施設	入居率(23施設中) 100% : 4施設 90%以上 : 17施設 80%以上 : 2施設	入居率(23施設中) 100% : 13施設 90%以上 : 9施設 80%以上 : 1施設			

補助事業者による情報の公表	ホームページ、事業用パンフレット、広告等
---------------	----------------------

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 利用者が負担する事務費(施設運営に係る経費)を収入段階に応じて減免することで、軽費老人ホームの目的である「低額な料金で入所できる」よう基準に基づき算出された額を補助している。				
	<g~hにおける取組> 利用者負担が増額とならないよう、基準に基づき算出された額を補助しているため、補助金の成果としての数値目標を設定しにくいことから、現行の評価方法を継続する。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善(補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止					
①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 軽費老人ホームの目的である「低額な料金で入所できる」よう、基準に基づき算出された額を補助する必要があることから、継続とする。					